

# 活力あふれる 住みよい長崎!

長崎市議会議員

# 井上重久 No.38 だより



平成27年11月 発行責任者 井上 重久 編集責任者 梅本 一由 長崎市水の浦町1-1 TEL095-861-6032

長崎くんち・新大工町「曳櫓尻」庭先回り  
(平成27年10月7日、長崎県庁玄関前)



## 長崎のくんち・郷くんち!

朝夕の冷え込みを感じながら晩秋を迎える季節となりました。皆様におかれましては、益々ご健勝にてご活躍の事と存じます。  
381年の伝統と歴史を誇る諏訪神社の「長崎くんち」は、3日間とも天候に恵まれ閉幕しました。  
庭先回りでは、根曳衆が豪快に引き回す「曳櫓尻」・「大漁万祝恵美須船」・「川船」、くんち奉納踊りの「代名詞」



姉妹都市提携60周年、セントポール公式訪問団来崎  
(平成27年10月7日、長崎市議会本会議場)

ともいえる諏訪町の「龍踊」などが披露され、異国情緒あふれる音色など市民や観光客は魅了されました。  
長崎人は、笛と太鼓のシャガリの音を聞くと、心はときめき仕事も手につかないとか。 「長崎くんち」が過ぎれば、各地域では「郷くんち」が開かれ、五穀豊穡・ふるさとの繁栄や安全を祈願する等、氏神様に対する感謝の気持ちを込めて、奉納踊りや神事が執り行われます。この長崎の貴重な伝統文化を次世代に繋いでいく必要があります。

## 職員の不祥事

### 「再発防止」に向けて!

9月定例議会の特徴は、長崎市職員の不祥事や業務のミスが相次いでいる事案に対し、各常任委員会において再発防止策が報告されました。昨年4月以降、市議会に報告されたミスや不祥事は25件に上がり、このうち8月に相次いで4件、定例会会期中に都市計画税の過徴収と出島の建築物復元工事での工事費積算ミス2件が報告されました。私の所属する建設水道委員会では、建築工事の積算ミス、市道の工期延長に関する変更契約で議決すべきところを専決処分と誤認、新市立病院駐車場棟基礎工事で雨水渠が埋設されていることを認識せず損傷などの事案に対する原因や再発防止策、処分の有無などを質しました。

私からは、縦割り組織のなかでは「報告・相談・連絡」の徹底を図ること、職員の知識不足・意識の低下も見受けられるので教育・指導を行うこと、組織のチェック体制の改善、コミュニケーション不足や各部署間の横の連携を図ることなど、再発防止に向けての意見を述べました。  
日々寒さが厳しくなってきましたので、お身体ご自愛ください。

長崎市議会議員 井上 重久

### 市民クラブ平成28年度政策要求!

市民クラブは10月1日、中・長期的視点に立ち、新規・継続見直し要求も含め8分野99項目の政策提言を取りまとめ、田上市長に対し「平成28年度政策要求」を行いました。また、「平成28年度予算で取り組むべき重点課題」25項目について、市長・担当部局に対しその実現を図られるよう強く要請しました。(具体的には井上重久ホームページをご参照下さい)

#### 主要要求内容

- ◆新庁舎建設基本計画の基本設計や建設時期については早急に結論を出すこと。
- ◆「明治日本の産業革命遺産」の登録後の受入態勢や稼働資産の保全、端島(軍艦島)の保全管理計画など諸課題の解決に向け万全を期すこと
- ◆世界遺産登録を契機に、新たな観光ルートの造成により交流人口の拡大に努めること
- ◆将来を担う若年者の県外流出防止策の取り組みを強化・推進すること。
- ◆企業誘致については、県と連携を図り正規雇用の拡大に向けて取り組むこと。
- ◆マイナンバー制度の導入は、個人情報管理とセキュリティ対策に万全を期し、利便性の向上と行政の効率化を図ること。など



## 編集後記

▼長崎市議会は、10月7日に長崎市とセントポール市が、日米間で初となる姉妹都市提携を結んでから60周年を迎え、米側公式訪問団を歓迎する長崎市議会の「全員協議会」を開催し、友好の絆を再確認しました。セントポール市のコルマン市長から「両市のリイダーたちは60年前に姉妹都市提携の重要性を確信していた。次の60年も友情が深まることを願う」との言葉が述べられました。今後とも、市民相互の信頼・交流を深め、世界平和に貢献する必要があると感じました。

▼来年の遺産登録を目指す「長崎の教会群とキリスト教関連遺産」(本県と熊本県14資産)は、さる9月26日から10月4日まで国連教育科学文化機関(ユネスコ)の諮問機関、国際記念物遺跡会議(イコモス)の現地調査が終了しました。文化庁によれば、調査員は保存管理と地域の関わりに関心を示し、一部地域では住民の話を聞いていたと報道されていました。遺産登録は、本県観光振興に果たす役割は大きいですが、顕著な普遍的価値をどうすれば守ることが出来るのか、関係者の十分な連携と万全の体制で臨んでほしい。

ご相談は お気軽に!



長崎市議会議員 井上重久  
自宅 長崎市大浜町408 ☎865-3553  
生活相談室 長崎市水の浦町1-1 ☎861-1985  
http://inoueshigehisa.net/

平成27年第4回定例会(9月議会)開催!

# 補正総額約6億9,453万円(特別会計含む)、33の議案を可決・同意!



平成27年第4回長崎市議会定例会は、9月1日に開会し9月18日までの18日間の日程で開催されました。今議会の補正予算は、「端島炭鉱(軍艦島)」の積立金、マイナンバー制度導入に伴う個人番号カードの推進費など一般会計予算(3億9,384万8千円)や、特別会計予算(3億68万4千円)の総額6億9,453万2千円が上程され、副市長に加藤邦彦氏を選任、条例改正では仁田佐小小学校とする「長崎市小学校条例の一部改正」、「長崎市よかまちづくり基本条例」など33議案を可決・同意しました。

また、議員派遣は3件を決定し、平成26年度各会計決算議案15件が閉会中の各常任委員会に付託されました。さらに、10月5日の臨時議会では、出島復元工事発注ミスによる1,390万9千円の補正予算、債務負担行為1億1,024万3千円を可決しました。

## 補正予算(案)の主な内容

### 一般会計予算…3億9,384万8千円

- ◆端島(軍艦島)整備基金 ……4,800万円
- ◆ながさき式見ハイツ(耐震補強実施設計) ……390万円
- ◆「明治日本の産業革命遺産」理解促進費 ……500万円
- ◆個人番号カード推進事業費 ……2,309万円
- ◆高齢者施設開設準備費補助金 ……2,060万円
- ◆児童福祉施設整備事業費補助金認定こども園 ……4,013万8千円
- ◆道の駅夕陽が丘そとめ(駐車場増設) ……3,000万円
- ◆野母崎炭酸温泉アレガ軍艦島リニューアル費 ……900万円
- ◆長崎駅周辺エリアデザイン検討費 ……1,251万9千円



旧グラバー住宅

取り組みは、長崎へ来訪する自動車の円滑な誘導のため、構成資産周辺への道路標識の設置を行っている。

そのほか、世界遺産の価値や歴史背景の情報発信、他エリアへの周遊を促す、スマートフォンアプリの開発を行う。地元の交通事業者では、陸から軍艦島を望むことが出来るバスツアーや、船上から産業革命遺産を眺めることが出来るクルージングツアーの造成などの取り組みを行っている。

**質問** 大規模改修が予定されている旧グラバー住宅について、改修中の来訪者への見せ方は?

**回答** 旧グラバー住宅は、昭和41年から43年に大規模な保存修理を行って以来、約50年が経過しており外壁や建具などの経年劣化が著しく、破損箇所が随所に見られる状態となっている。また、耐震対策等も未整備であり、平成27年度から耐震診断に着手し、平成28年度までに耐震補強方針の策定などを完了予定で、平成29年度より大規模な保存修理に取り掛かる。来訪者への見せ方は、現在、他都市における重要文化財建造物の修理中の公開方法等について調査を進めている。

## 2. マイナンバー制度について

**質問** 個人情報管理とセキュリティ対策は?

**回答** マイナンバー制度の導入により、平成29年7月から国の機関や他の自治体との情報連携が開始される。この情報連携は、マイナンバー法で定められた事務に限り、ネットワーク回線を通じて、情報の照会、提供を行うことが出来る仕組みとして、国が「情



15回目の登壇で質問を行う(平成27年9月7日、本会議場)

報提供ネットワークシステム」を設置するもので、個人情報情報はこれまでどおり各団体が管理され、特定の機関に情報を集中管理するものではなく、分散管理するもの。

また、情報提供ネットワークシステムが利用するネットワークは、地方公共団体のネットワークを相互に接続し、高度なセキュリティを維持した行政専用のネットワークで、一般的なインターネットにはつながっていない、独立したネットワークとなっている。

このネットワーク接続は、国が配布する専用の暗号化通信装置を設置し、暗号化通信

## 一般質問(要旨)

### 1. 世界文化遺産登録後の取り組みについて

**質問** 登録決定後の観光客については増加していると思うがその状況は?

**回答** 世界文化遺産登録になった各資産の平成27年7月と8月の2カ月の集客状況は、端島、グラバー園、旧木型場の3施設合計は25万2,125人で昨年と比べ約1.5倍の増となっている。世界文化遺産の登録に伴い、見学の方法を變更した旧木型場(三菱資料館)の来場者数は、期間中で6,216人、昨年同期は3,007人で約2.1倍の増加となっている。

また、その他の資産のうち、小菅修船場跡、高島の北溪井抗跡は増加しているが、多くの方が来訪している状況にはない。今後も、現在の観光客の増加を捉え、一過性に終わらすことなく継続して観光客が訪れるよう努める。

**質問** JRのデスティネーションキャンペーンや産学官民

**回答** JRグループ6社と県内全ての自治体、地元の観光事業者等が実施するデスティネーションキャンペーンは、平成28年10月から12月までの期間、長崎県では初めて単独開催が決定しており、産学官民と連携し全国への情報発信、誘客に取り組む。

また、地元長崎大学と長崎市が協働して、軍艦島の記録保存を行うため、3Dによるコンピュータグラフィックの映像をインターネット上で公開している。受け入れ態勢の



世界遺産の端島(軍艦島)

付にあたっては、制度の趣旨が十分伝わるように、そして理解していただく事が重要である。来年1月からは、番号利用の開始と合わせ、個人番号カード交付開始となり、長崎市は人口の7%(約3万枚)を想定枚数としている。

現在、長崎市の住民基本台帳カード等交付状況は、約4万2,000枚が交付されており、個人番号カードの配布及び切り替え手続き、通知カードの返戻対応など、一時的に業務量が増大することが懸念される。よって、職員の応援加勢を含めた人的対応、市民サービスの低下とならないよう、マイナンバー制度の推進を図ってほしい。

そのほか、(仮称)上下水道マスタープラン2015について、国道202号の整備促進並びに(仮称)福田バイパスの早期事業化についての質問内容および意見・要望は、井上重久ホームページ(議会報告)のなかに掲載していますので、是非アクセス頂ければと思います。